

関東南西教区 西地区 壮年婦人集会 テーマ：慈しみの手を差し伸べる寄り添いの使節

副題：ルカの福音書 10 章 よきサマリヤ人 から聖書に学ぶ

聖書箇所 ルカの福音書 10 章 30～37 節

盛り込み内容

- ・導入 今日のテーマから
- ・厚生労働白書などを参考に、日本の現状について。
- ・よきサマリヤ人、そして現代社会への適用。
- ・生活困窮者自立相談支援員として働き、関わった経験から
- ・自分で立ち上げた真岡市にある「ブラっとこども食堂」の事例から。

●導入

- ・今日のテーマを踏まえて、「愛すること」「仕えること」「祈ること」とは？

●厚生労働白書から

- ・現実社会では、高齢化、介護疲れ、孤独、引きこもり、経済困窮、育児不安、家庭崩壊、社会から孤立する若者などの問題があります。
 - 高齢化率 29.3% （約 3.4 人に 1 人が 65 歳以上）
 - 同居の主な介護者の約 7 割（68.9%）が悩みやストレスを抱えている。
 - 日本では約 10 人に 4 人（39.3%）が何らかの孤独を感じている。
 - ひきこもり推計人数 約 146 万人
- ・今日のテーマである「よきサマリヤ人」、あなたはその人の隣人になれるか。

●よきサマリヤ人、そして現代社会への適用

- ・祭司やレビ人は倒れている人を見て、「関わらない」「避ける」「通り過ぎる」という選択をした。
- ・サマリヤ人は、「見て」「かわいそうに思い」「近寄って」「介抱（手当）した」
- ・私たちにできることは、話を聞く、短時間だけ代わる、食事を届ける、通院送迎する、電話する、祈るなど様々。
- ・教会は、評価する場所ではなく、安心できる場所でなければならない。一言が命を救う。

●生活困窮者自立相談支援員としての働き、こども食堂の運営

- ・事例紹介

●分かち合いテーマ

- ① 最近「助けを求めている」と感じた人はいましたか？
- ② 自分自身が「寄り添われて救われた経験」はありますか？
- ③ 個人として、教会として、地域に対してできる小さな一歩は何でしょうか？
- ④ 壮年婦人として、今後どのような「寄り添い」が必要だと思いますか？